



## 11月は「心かがやけ月間」

熊本市では、毎年11月を「心かがやけ月間」として学校、保護者、地域社会と連携した道徳教育の充実を図る取り組みをしています。本校でも今週から学級ごとに校門前の「あいさつ運動」を行ったり、毎週火曜日の朝のVS活動を活性化させたりしています。また、「家族道徳の日」(11/25～11/29)として、家族の方々と一緒に道徳の教材を通した感想交流をしていただく取り組みも計画しています。子どもたちの考えや思いをしっかりと受け止め、家族の方々の考えも伝える機会にさせていただきたいと思います。どうぞ、ご協力をよろしくお願い申し上げます。さて、7日(木)の学校朝会では、「心かがやけ月間」にもちなんで「地域の支え」をテーマに子どもたちにお話をしました。

11月は「心かがやけ月間」ですね。昨日から6年生が正門や南門で元気にあいさつ運動をしてくれていました。1年生はびっくりしたかもしれませんが、元気な「おはようございます」が返ってくると、それだけで気持ちのいい一日のスタートが切れますね。みんなで気持ち良い挨拶の輪を広げてください。

今日は、「地域の支え」についてお話をします。実は、みんなが日々を気持ちよく、安全に生活できているのは、たくさんの人の支えがあるからなのです。見えない力がみんなを守ってくれています。毎朝、早くから校庭の落ち葉掃除をしてくださっている方もおられます。少しでもみんなが気持ちよく過ごせるようにと365日、取り組んでくださっています。

「ミントの会」の方々は、図書室の心地よい環境づくりをしてくださっています。季節に合わせた毎月の掲示で、心が和まされています。

交通安全協会の方々や防犯協会の方々、民生委員会の方々もみんなの登校や下校の見守りをしてくださっています。校区内で事故や事件にあってほしくないという強い思いで、立ってくださっています。

また、みんなが知らないところで、地域の方々が街をきれいにしてくださったり、公園をきれいに保ってくださったりしているのです。先日行われた校区運動会や夏祭りなどの企画・運営もしてくださって、地域に暮らす人々との交流の場を作ってくださっています。みんなが普段楽しんでいる場所や遊んでいる場所も安全に気を配っていただいています。こうして守られていること、これが「地域の支え」です。

「地域の支え」があるから、学校や家で安心して過ごせています。地域の方々の支え、ありがたいですね。みんなも将来、誰かを助けたり、支えたりできる人になれば素敵ですね。「ありがとう」の気持ちを忘れず、困っている人がいたら、手を差し伸べることが、地域を大事にすることに繋がっていくのだと思います。

地域の見えない支えにも気づいたら、ぜひ行動で感謝の気持ちも表してほしいと思います。

